

資料 2 に関する意見

株式会社日本総合研究所 池本 美香

【6 ページ】

子どもの発達理解の基礎と児童期の生活と発達は重複しないでしょうか。

児童期だけでよいようにも思います。代わりに、「子どもの権利」についての研修をぜひ入れていただきたいと思いました。子どもの意見を尊重してクラブ運営をすることなど、「子どもにとってクラブはどのようなものでなければならないか」という原則を確認してほしいです。

子どもに一方的にルールを守らせ、守らなければきつくしかるというようなやり方を見直す必要があると思っています。

【7 ページ】

まず、「放課後児童クラブにおける子ども・保護者支援のあり方」というタイトルですが、支援という言葉には、子どもや親が弱い存在であるというイメージが伴い、個人的には違和感があります。

子ども・保護者とのかかわり方など対等な関係性を出せるような言葉になればと感じました。

○「3-⑨子どもの遊びの理解と遊び支援」について

遊びは重要ですが、一方で放課後児童クラブで子どもたちは多くの時間、宿題や勉強をしています。この学習の位置づけや考え方、方法等についても、あわせて研修で伝える必要があるように思います。

【8 ページ】

○「3-⑩保護者との連携・支援」について

ここでも保護者を支援するというだけでなく、保護者の協力を得て、どうやってクラブを充実させていくか、その手法や事例などを紹介いただきたく思います。一日指導員や外出のつきそい、保護者企画のイベント、保護者と一緒の活動計画づくりをするなど、またそれをどうやって指導員が働きかけて実現を促すかなど、「子どものためにできることをやりたい」という親の力を生かす方法を研修にいれてほしいと感じます。

【2 ページ】

<主な検討課題>については

○現場実習はぜひ入れていただき、現場の方から実習者の評価コメントをいただければと思います。また、個人的に必要だと感じるのは、小学校教員免許を持っている方を除き、学校の日を見学することもぜひ加えていただきたいと思います。学校で日中子どもたちがどんなことをやっているのか、先生方はどのように接しているのかを知った上で、クラブのあり方を考えるという視点がどうしても必要だと感じます。小学校は実習ではなく、授業参観というかたちでも意味があるので、ここは、厚労省と文科省の壁を超えて、学校側の協力を期待します。

○通信学習（講習）の仕組みもぜひほしいと感じますが、現場実習は別途必要だと思います。

その他、以下盛り込めないかと思うことです。

・経営に関すること

クラブとして様々な事務作業があり、お金の扱いなどもあるので、そのあたりの研修も簡単にあった方がよいかと思いました。メールやパソコンの扱い、書類の保管など、年齢によっては難しい場合もあるように思いました。

・性差に関すること

男の子はクラブで友達に会って騒げれば楽しいという感じで、あまりクラブが嫌とは聞きませんが、女の子は男子がうるさい、落ち着かないなどで、早く辞めていく傾向があるなども聞きます。海外の調査でも、活動の好みが男女で大きく違うことに配慮が必要とあり、子どもとひとくくりにせず、性差への配慮が必要だということも、研修で触れていただきたいと思います。

また、娘を持つものとして、男性指導員の女子への関わり方はとても気になっておりまして、高学年ともなると一層気になります。女子学生へのアンケートでも、男性指導員がいてリラックスできなかった、とにかく嫌だった、という回答もありました。

海外では、性犯罪歴がないことの証明書がなければクラブでは働けない国がほとんどであり、日本でも民間の大手塾では、採用の際に心理テストをやって、そういう傾向のある人は採用しないというところもあり、クラブの支援員の認定証がその点についてノーチェックで発行されるということではよいのか、と感じます。せめて倫理のところその点を徹底し、誓約書なり、研修内容なりを保護者に開示して、保護者や子どもが安心だと感じられるようにしてほしいと思います。